

地質ニュース

昭和 61 年 3 月

第 379 号

1 9 8 6

カリフォルニアの金鉱床.....	石原舜三	6
東南アフリカ事情(5) ボツワナーダイヤモンドの国.....	高橋清	22
北京大学地質学系のカリキュラム.....	岸本文男	36
中国再訪(2).....	小村幸二郎	50
地学と切手.....	P	Q...63
海外室だより.....	海外室	64
恵曇 ETOMO	鹿野和彦 中野彦俊	66

口 絵

カリフォルニアのマザーロードと砂金鉱床

石原舜三

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

ゴールドラッシュのみなもと：カーソンヒルの含金石英脈

菱刈鉱山の発見などによって近年浅熱水性鉱床への関心が高いが、花崗岩に関係する金鉱脈にも大規模なものがあって一時代を画した。カリフォルニアのゴールドラッシュがそれであり世界の年産額20トンの19世紀なかばに年間120トンもの金をもたらした。砂金は延長200kmにも達するマザーロードを源とする。その一つカーソンヒルの鉱脈は富鉱部が掘掘りされなお巨大な石英脈は残されている。発見初期のナーゲットと呼ばれる金塊には砂金が塊状に集ったもののほか、この様な含金石英脈上部の富鉱部からの鉱石も含まれており、その上部は菱刈鉱床に劣らず高品位であったようである（口絵および本文6頁参照）

4月号予定目次

鉱物資源を考える

鉱床田の構造と鉱床の構造を研究する
内容と構造

茨城県中久沼の生い立ちとその周辺の
自然を採る

「南部鉱石標本」について

地質標本館だより（生きている化石）